

9月 図書館カレンダー
CALENDAR

1日	菰野ほんご会展示会 ▶ 9月1日まで
2月 休館日	
3火	展示 ▶ 知る、行く、つながる。東北と熊本・大分 ▶ 9月23日まで
4水	
5木	
6金	
7土	展示 ▶ 救急ポスターコンクール作品展示 ▶ 9月4日から9月13日まで
8日	
9月 休館日	
10火	
11水	
12木 16:00～	英語のおはなし会
13金	
14土 14:00～	楽しいおはなし会
15日	
16月	
17火	
18水	
19木	展示 ▶ 銅版画工芸品展示 ▶ 9月14日から9月23日まで
20金	
21土	
22日	
23月	
24火 休館日	
25水	
26木	展示 ▶ かもしかーフマラソンポスター・川柳展示 ▶ 9月25日から10月27日まで
27金	
28土 14:00～	楽しいおはなし会
29日	
30月 休館日	

いよいよラグビーワールドカップ開幕!

前回のワールドカップでは強豪南アフリカ共和国に勝利したラグビー日本代表。さて、開催国ニッポンでどんなプレイを魅せてくれるのでしょうか。開催前に、ラグビーのルールや歴史を調べてみませんか。

- 『しらべよう! たのしもう! ラグビー入門①～③』
- 『ラグビーのルール 超・初級編』
- 『1301日のJAPANWAY ラグビー日本代表 ワールドカップまでの4年間』
- 『ラグビーの世界史-楕円球をめぐる二百年-』
- 『激動する日本と世界のラグビー』ほか



菰野町手づくり民話絵本コンクール応募作品 作品展示
▶ 9月14日～9月15日

「私のアイデア貯金箱コンクール」 作品展示
▶ 9月17日～9月29日

新着図書から

『大江戸くらし図鑑』 一般書
▶ 洋泉社 (382.1/オ) (L382.1/オ)
英国人写真家が撮影した江戸の景観写真の中に、「伊勢菰野藩土方家上屋敷」が写っています。ぜひ、本書を一度手に取ってみることをお勧めします。「世界一の都市」と称される江戸の庶民の暮らしがこの一冊でわかります。

『まなの本棚』 ティーンズ
▶ 芦田愛菜 / 著
▶ 小学館 (J019/ア)
子役でおなじみの芦田愛菜さんは一年に100冊以上の本を読む読書家です。「本の背表紙をみていると、背表紙がキラッと光って見える」とフィーリングで読む本を選ぶこともあるという読書愛が詰まった一冊です。科学者の山中伸弥氏や作家の辻村深月氏との対談も掲載されています。

『貸出禁止の本をすくえ!』 児童書
▶ アラン・グラッツ / 作
▶ ないとうふみこ / 訳
▶ ほるぷ出版 (933/グ)
小学4年生のエイミー・アンは内気で友達も少なく、唯一の楽しみは本を読むことです。貸出禁止になってしまった本を救おうと立ち上がったエイミー・アンの活躍にページをめくる手が止まらなくなってしまう一冊です。

郷土史・風俗

第66回 文化人 教育者 藤井喜市

校長としての働き

藤井喜市は明治5年3月11日、田光村の安太夫、ひの夫妻の長男として生まれました。菰野学校の高等科から三重師範に進み、同28年に卒業して菰野小学校の訓導^{※1}に奉職、同38年にふるさとの朝上小学校の校長に就任しました。朝上小学校は明治5年の学制発布で田光学校から刮磨^{かつま}学校と名を改め、同22年朝上村創立とともに朝上小学校となり、同34年に小島小学校を併合して朝上尋常高等小学校となりました。

喜市校長は校舎の改築、拡充に努め奉安庫^{※2}を建て、学校の「校訓」を制定、「村訓」も起草しました。大正10年の秋、台風のため校舎が倒壊しましたが、同13年新校舎4棟が完成しました。喜市は学校教育のほか公民教育を重視、朝上青年会、処女会を結成して、男子は夜学を開講し、女子には裁縫を教え、常に人は従順、誠実、自律であれと説き、温情をもって導きました。

詩人 鬼白先生



喜市は昭和5年に永く勤めた教職を退くと、一切の公職に就かず、鬼白と号して悠々自適に晴耕雨読の日々を過ごしました。杉谷の尾高山で遊び、俳句を勧め、田口の西行庵で歌会を催し、田光の光泉寺などに青年を集めて文学を説きました。

また、短歌を佐佐木信綱、伊藤左千夫らに学び、特に左千夫を明治41年5月、湯の山温泉へ招聘^{しょうへい}しています。俳句は桑名の天春静堂と親しく付き合い、大正5年に静堂が病氣療養中は、菰野、杉谷、田口へ招き親身になって看護の手を貸し、句誌『かいつむり』の編集刊行に深く関与しました。朝上村にあつては田光句会、小島の葉木句会を熱心に指導しました。喜市の書は天与の資質か、その麗筆は色紙、短冊や条幅などに多く残され、現在では町の至宝として大切にされています。昭和22年1月4日、75歳で亡くなりました。

藤井喜市の石像 ▶

町長のひとり語 The Story of our Mayor



みなさんお元気ですか。私が町長に就任して早くも半年が経とうとしていきます。この半年間で日々の公務をこなしながら理解を深めてきた「町長の仕事」というものについてご紹介したいと思います。

Theme 06 町長の仕事とその役割

まず、「毎日どのような仕事をしているのか?」ということですが、公務として各区の行事や総会などに出席することも少なくありません。あるいは町に関連する予算の要望のため国の省庁へ向かうこともあります。では、役場に在庁しているときはどうかという点、町の意思決定となる書類の事務処理をはじめ、来庁者との面会、職員との政策等に関する協議など、仕事の内容は多岐にわたります。

このように様々な公務を行って

いる以上、時間の制約があり、ご来庁いただいた町民の皆さんとお会いする時間が十分に確保できないということがしばしばあります。そこで町民の皆さんと直接意見交換できる場を設けるために「柴田町長と語ろう」という事業を始めました。詳しくは町ホームページをご覧ください。担当課(企画情報課)までお問い合わせください。

最後に、町長が町に関わることを全て決定できるかというと、必ずしもそうとは限りません。菰野町を住みよいまちにするためには、地域の方々のご協力が必要なる場合もありますし、国や県などの関係機関との連携も必要となります。町民の皆さんの声をふまえ、これからも町長としての役割を果たしていきたいと考えていますので、引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願いします。